

新庁舎が完成しました。

地元産木材のぬくもりを感じる庁舎
5月23日(月)から業務を開始!!

平成27年3月18日の工事着工から
約1年2ヶ月。飯南町下赤名880番地に飯南町本庁舎が完成しました。



多くの方に見学に来ていただきました



庁舎建設の基本理念

ひらかれた庁舎

1階には、町長室をはじめ執務室空間を設け、ゆとりある空間とすることで、利用する町民にとって、機能的に分かりやすい開放的な配置としました。また、町長室は執務室・待合ロビーに隣接し、職員との連携はもとより、町民と対話のしやすい空間とすることで、誰もが利用しやすい庁舎としました。

防災機能を有した庁舎

大地震時に町の行政機能を発揮し拠点施設となるべく、耐震安全性に十分配慮した構造としました。

簡素で効率的な庁舎
町のイメージアップが図れる庁舎として、町のシンボル性を表現するために、庁舎周辺の自然環境の修景を図りました。循環型の生命地域飯南町のイメージにふさわしい、環境にやさしく自然に調和する、美しい里山に建つ庁舎を目指しました。



庁舎の完成おめでとうございます。新庁舎の建設については、町合併協議会の頃から関わってきて、場所の選定でも様々な議論をしてきました。新庁舎が完成して感慨深いものがあります。

新庁舎の基本理念にもあるように「ひらかれた庁舎」、住民に近い役場となってほしい。

夜、建設途中の役場を見ると、中の照明と雪のコントラストが、とてもきれいでました。ライトアップをするのも面白いかもしませんね。

新庁舎建設検討委員会 委員 森島 功武さん

